

4月27日（水） きちんと

3年生が^{どうとく}道徳で、「^{せいかつ}きちんとした生活を
する」ことについて^{べんきょう}勉強していました。

^{しゅじんこう}主人公の子は、^{おそ}遅くまでゲームをして
いて、^{あさ}朝ごはんも^た食べず、^{がっこう}あわてて学校
に行くことになります。^{くるま}車にひかれそう

になるし、^{ずこう}図工で使う物も^{つか}忘れて^{もの}しまいます。

^{じゅぎょう}授業で、3年生はとて^{はっぴょう}もいいことを発表していました。

「いくらゲームをクリアしても、^{わす}忘れ物^{もの}をするのは、^は恥ず
かしい」

「ゲームはいつだってできる。^{つぎ}次の^ひ日の^{じゅんび}準備をしないのは、
ダメだ」

「^{わす}忘れ物^{もの}をするのも^は恥ずかしいけど、ゲームをやめられな
いのも^は恥ずかしい」

3年生でも、しっかりと^{じぶん}自分の^{せいかつ}生活のことを^{かんが}考えられる子
がいることに、^{かんげき}感激しました。「ゲームをクリアすることより
も、^{じぶん}自分の^{じゅんび}準備を^{じぶん}自分でできた方が^{ほう}うれしいこと」とノートに
^か書いている子もいました。^{りっぱ}立派な^{とよしょう}豊小っ子ですね。

村越 新

